

ドイツ語（初級 B）／A ドイツ語 第 21 回 指示代名詞と不定代名詞、再帰代名詞と再帰動詞

範囲：教科書第 13 課 A, B (S. 51-54)

《今回の基本例文》

69. Ich kann mich an die Sache nicht mehr erinnern. (CD66-5)

もう私はそのことを思い出せない。

[再帰代名詞 sich、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語（1）、（話法の助動詞）]

70. Er freut sich auf den Ausflug. (CD66-1)

彼はピクニックを楽しみにしている。

[再帰代名詞 sich、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語（2 a）]

71. Wir haben uns über Ihr Geschenk sehr gefreut. (CD66-2)

私たちはあなたの（あなたがたの）プレゼントをたいへん喜んでおりました。

[再帰代名詞 sich、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語（2 b）、（現在完了（haben 支配））]

72. Interessierst du dich für klassische Musik? (CD66-6)

君はクラシック音楽に興味があるのか？

[再帰代名詞 sich、再帰動詞、特定の前置詞と結ぶ再帰動詞による熟語（3）]

I 指示代名詞・不定代名詞

A. 指示代名詞・不定代名詞 (S. 51)

■ 代名詞のまとめ

◇ 代名詞としては、

・ 所有代名詞：mein 型（教科書第 4 課）

＊ むろん不定冠詞型（mein 型）の変化をした。

・ 人称代名詞：教科書第 6 課

＊ 教科書 S. 26 の表のような特殊な変化をした。

・ 指示代名詞：dieser や solcher（教科書第 4 課）、der など（今回の範囲）

＊ dieser や solcher は定冠詞型（dieser 型）の変化をした。

・ 不定代名詞：jeder（教科書第 4 課）、etwas、nichts、man など（例文中で何度か登場）、einer など（今回の範囲）

＊ jeder は定冠詞型（dieser 型）の変化をした。一方、etwas や nichts は無変化で、man はそもそも 1 格しかなかった。

・ 再帰代名詞：sich（今回の範囲）

・ 関係代名詞：のちほど教科書第 15 課で学習する

などがある。

＊ いずれも概念としては英語と同じと考えてよい。

1 指示代名詞 der

- ◇ 「これ、それ、あれ」。英語の *this* や *that* に相当。
- ◇ 変化形は、下記の太字部分を除いて冠詞 *der* とほぼ同じ。

	男性	女性	中性	複数
1 格	der	die	das	die
2 格	dessen	deren	dessen	deren
3 格	dem	der	dem	denen
4 格	den	die	das	die

* 2 格の *dessen* と *deren*、複数 3 格の *denen* のみ独自。あとは定冠詞と同じ。

** *das* のみは性・数に関係なく「それ」の意味で使用可能。*das ist ...*はこの *das* にあたる。

- ◇ ただし、定冠詞 *der* がアクセントを持たないのとは異なり、いずれも強く発音する。
- ◇ 基本的な用法は、

・「**これ、それ、あれ**（モノの場合）／**この人、その人、あの人**（人間の場合）」と強く指示する（人称代名詞に置き換えても成立する場合もある）

・既知の名詞を受ける（やはり人称代名詞に置き換えても成立する場合もある）。

Kennst du den da? Ich meine den in Uniform.

君はあの男を知っているか。ユニフォームを着たあの男のことを言っているんだよ。

* 第 1 文は強い指示の用法、第 2 文は既知の名詞を受ける用法。

** *meinen* は「(4 格) のことを想定する」。

Das ist mein Bruder / meine Schwester.

これが私の兄弟／姉妹です。

Das sind meine Freunde.

これが私の友人たちです。

* 以上 2 つは男性／女性／複数を *das* で受ける場合。もちろん、複数だと動詞もそれに対応した変化をする。

・同一語の反復を避けるために用いる。英語の *that of ...* や *those of ...* に相当。

Das sind die Fotos von meiner Familie und die von meinen Freunden.

これは私の家族の写真と、私の友人たちのそれです。

* 最初の *das* は強い指示（複数）。次の *die* 以下は英語の *those of my friends* に相当（反復を避けるための用法）。

- ◇ 2 格の *dessen*, *deren* は所有代名詞や人称代名詞が使用不可なときに用い、後置ではなく前置する。

* やや高度な事項であり、いまは特に覚えなくてもよい。

Petra hasst Renate und deren Mann.

ペトラはレナーテとその（＝レナーテの）夫を嫌っている。

* この場合、指示代名詞 *der* の 2 格は直前の同じ性数の名詞を受けるので、*deren* はレナーテを指す。

Petra hasst Renate und ihren Mann.

ペトラはレナーテと彼女の（＝ペトラ自身の）夫を嫌っている。

* こちらの場合、所有代名詞は主語を指すと考えるのが普通である。

2 不定代名詞 **einer**、**keiner** (S. 52)

◇ **einer** は「ある人、ある一人／ある物、ある一つ」、**keiner** はその否定形。

◇ 変化形は **dieser** 型。

	男性	女性	中性
1 格	einer	eine	ein[e]s
2 格	eines	einer	eines
3 格	einem	einer	einem
4 格	einen	eine	ein[e]s

	男性	女性	中性	複数
1 格	keiner	keine	kein[e]s	keine
2 格	keines	keiner	keines	keiner
3 格	keinem	keiner	keinem	keinen
4 格	keinen	keine	kein[e]s	keine

* 不定冠詞 **ein** や **mein** 型ではなく **dieser** 型であり、男性 1 格、中性 1 格と 4 格にも語尾が入ることに注意。

◇ 似た意味の不定代名詞に、**jemand**（誰か、*somebody*）および **niemand**（誰も～ない、*nobody*）。

	男性
1 格	jemand
2 格	jemand(e)s
3 格	jemand(em)
4 格	jemand(en)

	男性
1 格	niemand
2 格	niemand(e)s
3 格	niemand(em)
4 格	niemand(en)

* 両者ともに文法上は男性として扱われるが（指示代名詞 **der** で受けられる、など）、意味のうえでは男性に限らない。

** 「人の 3 格」を表す辞書記号の *jm.*、「人の 4 格」を表す辞書記号の *jn.*などがこの **jemand** の変化表に由来することはすでに学んだ。（⇒授業第 9 回配付資料 S. 2）

◇ 基本的な用法は、

- ・ **einer** なら「ある一人の人、ある一つのもの／こと」（*some one*）、**keiner** なら「誰一人として／何一つとして～ない」（*no one*）として、単独で使用する

Damals hat mir keiner geholfen. / Damals hat mir nur einer geholfen.

そのとき誰も私を助けてくれなかった。／ただ一人だけが助けてくれた。

* この **keiner** / **einer** は主語。特に女性や複数人が想定されていない場合、男性形を用いる。

Ein[e]s darf man nicht vergessen.

一つ忘れてはいけないことがある（一つのことを忘れてはいけない）。

* この **ein[e]s** は **vergessen** の 4 格目的語。人間ではなく「こと」なので中性形を用いている。

- ・ 既知の不定冠詞つきの名詞を受ける。**einer**+2 格で英語の *one of the ...* に相当。

Hast du einen Führerschein?

君は運転免許証を持っているか。

- Ja, ich habe einen. / Nein, ich habe keinen.

うん、持っているよ。／いや、持っていないよ。

* この **einen** / **keinen** は疑問文に登場した **einen Führerschein** を受けている。

Wir nahmen an einem der Tische Platz.

私たちはテーブルの一つに向かって座った。

* この **einem** は **einem Tisch** を受けており、複数 2 格の **der Tische** がそこにかかって、「(複数の) 机のうちの一つ」の意味になる。要するに、英語の *one of the tables* に相当する表現。

II 再帰代名詞と再帰動詞

B. 再帰代名詞・再帰動詞 (S. 52)

1 再帰代名詞

再帰代名詞 = sich（基本形）

→ 主語と同じもの（自分自身）を指す

◇ 主語と同じものを指す 3 格や 4 格の代名詞を再帰代名詞といい、基本形は **sich** である。英語の *oneself* に相当する。辞書などでは、3 格の **sich** を **sich³**、4 格の **sich** を **sich⁴** のように表記している（もちろん実際の文面では数字は書かない）。

◇ 3 人称のときは **sich** をそのまま使用するが、1 人称や 2 人称のときは人称代名詞と同じかたちを用いる。

	1 人称		2 人称		3 人称		2 人称 (敬称)
	単数	複数	単数	複数	単数	複数	
3 格	mir	uns	dir	euch	sich		sich
4 格	mich	uns	dich	euch	sich		sich

* 英語の *oneself* を *myself, yourself, himself, herself, itself, ourselves, yourselves, themselves* と変化させるのと同様と考えればよい。

◇ 基本的な用法は、

- ・「**自分自身に、自分自身を**」を意味する。

Er nahm die Schuld auf **sich⁴**.

彼は責任を（自分自身のうえに）引き受けた。

Hast du deinen Führerschein bei **dir**?

君は運転免許証を（自分自身の）手元に持っているかい。

Er rief seine drei Söhne zu **sich³**.

彼は 3 人の息子たちを（自分自身のもとへ）呼び寄せた。

* **sich** についた上付き文字の 3 や 4 は格関係の説明のため便宜的に入れたもので、本来は書かれない。

- ・主語が複数形るとき、3 格目的語や 4 格目的語に再帰代名詞を用いると、「互いに」の意味になることがある（**相互代名詞**的用法、英語の *each other* や *one another* に相当）。

* 本来の相互代名詞としては *einander* があり、こちらを用いてもよい。

Wir helfen **uns**.

私たちは互いに助け合う。

Hans und Peter helfen **sich³**.

ハンスとペーターは互いに助け合う。

* 同じく、**sich** についた上付き文字の 3 は格関係の説明のため便宜的に入れたもので、本来は書かれない。

2 再帰動詞 (S. 53)

- ◇ 3格目的語や4格目的語に再帰代名詞をとることで特定の意味を表す動詞を、**再帰動詞**という。英語でも再帰動詞は見られるが（*enjoy oneself*など）、ドイツ語では英語よりはるかにその数が多い。
- ◇ 再帰動詞としての用法を持つ動詞を辞書で引くと、それとわかる記号が記されており（**再帰**など）、不定詞句のかたちで再帰動詞としての用法が記述されている。各自の辞書で確認しておくこと。
- ◇ **sich⁴**を用いた再帰動詞。

「〈4格〉を〇〇させる」意味の他動詞の〈4格〉に **sich** を代入
→ 「自分を〇〇させる」 = 「〇〇する」

・ **sich⁴ verspäten / sich⁴ beeilen** : 遅刻する／急ぐ

* **verspäten** の変化形は **arbeiten** 型。もともと「〈4格〉を遅らせる」という意味の他動詞であり、その意味でも使ってよい。一方、4格目的語の部分に再帰代名詞が入ることで、「自分を遅らせる」つまり「遅刻する」の意味になる。

** **beeilen** はもともと他動詞「〈4格〉を急がせる」。上と同様に再帰動詞をつくる。

Ich verspäte mich. / Du verspätetest dich. / Er verspätet sich.

Wir verspäten uns. / Ihr verspätet euch. / Sie verspäten sich.

私は／君は／彼は遅刻する。

我々は／君たちは／彼らは遅刻する。

・ **sich⁴ setzen** : 席に着く、座る

* **setzen** はもともと他動詞「〈4格〉を置く」

Setz dich bitte auf den Stuhl!

どうぞ椅子に座りたまえ。

* 動作としての「座る」のこと。移動の目的地のため、**auf** は4格と結ぶ。

** 「座っている」状態は **sitzen** で表す。静止した位置のため、**neben** は3格と結ぶ。 (⇒教科書 S. 23)

・ **sich⁴ erkälten** : 風邪をひく

* **erkälten** はもともと他動詞「〈4格〉を冷やす」。

Er hat sich stark erkältet.

彼はひどく風邪を引いた。

- ◇ **sich³**を用いた再帰動詞：「(自分のため) 〇〇する」の意味になるものが多い。

・ **sich³ etw. wünschen** : 〈4格〉を(自分のために) 望む

Ich wünsche mir ... / Du wünschst dir ... / Er wünscht sich ...

Wir wünschen uns ... / Ihr wünscht euch ... / Sie wünschen sich ...

私は(私自身のため)／君は(君自身のため)／彼は(彼自身のため)～を望む。

我々は(我々自身のため)／君たちは(君たち自身のため)／彼ら(彼ら自身のため)～を望む。

・ **sich³ etw. überlegen** : 〈4格〉を熟慮する

Ich werde es mir noch einmal überlegen.

そのことはもう一度よく考えておこう。

3 再帰動詞＋前置詞の熟語

- ◇ 英語にもあるように（*help oneself to ...* など）、再帰動詞と前置詞を組み合わせた熟語が存在する。
- ◇ 再帰動詞＋前置詞の熟語の例。

- ・ **sich⁴ an et⁴. erinnern** : 〈4 格〉を思い出す

* erinnern は前置詞 an と結ぶ一般の他動詞としても使え、*jn. an et⁴. erinnern* で「〈人の 4 格〉に〈物の 4 格〉を思い出させる」の意。*jn.*に *sich⁴*（自分）を代入すると、「自分に〈物の 4 格〉を思い出させる」、つまり「〈物の 4 格〉を思い出す、記憶している」。

（一般）Er **erinnert mich an** meinen gestorbenen Bruder.

彼は、私に死んだ兄弟を思い出させる。（＝彼を見ると、私は死んだ兄弟を思い出す。）

（再帰）Ich **erinnere mich an** meinen gestorbenen Bruder.

私は死んだ兄弟のことを覚えている。

- ・ **sich⁴ auf et⁴. freuen** : 〈4 格〉を楽しみにしている

- ・ **sich⁴ über et⁴. freuen** : 〈4 格〉を喜ぶ

* freuen は一般の他動詞「〈人の 4 格〉を喜ばせる」としても使うことができる。*jn.*のところに *sich⁴*（自分）を代入すると、「自分を喜ばせる」、つまり「喜ぶ」の意味になる。この場合、前置詞 auf＋4 格を用いれば「未来のことを楽しみにしている」、前置詞 über＋4 格を用いれば「現時点ですでに起きていることを喜ぶ」の意味になる。

（一般）Es **freut mich sehr**, dass du endlich kommst. （⇒教科書 S. 35）

君がとうとう来てくれたことが、私を喜ばせる。

（＝君がとうとう来てくれて、私はうれしい。）

* es は仮主語であり本来の主語が dass 節であることは、前期に説明した通り。

（再帰）Er **freut sich auf** die Weihnachtsferien.

彼はクリスマス休暇を楽しみにしている（＝時点はクリスマス休暇以前）。

（再帰）Er **freut sich über** die Weihnachtsferien.

彼はクリスマス休暇に喜んでいる（＝時点はクリスマス休暇中）。

- ・ **sich⁴. für et⁴. interessieren** : 〈4 格〉に興味がある。

* interessieren は一般の他動詞「〈人の 4 格〉の興味を引く」としても使うことができる。*jn.*に *sich⁴*（自分）を代入すると、「自分の興味を引く」、つまり「興味がある」の意味になる。

（一般）Das **interessiert** mich nicht.

そのことは私の興味を引かない。（＝私はそのことに興味がない。）

（再帰）Ich **interessiere mich für** Physik.

私は物理学に興味がある。

- ・ **sich⁴. um et⁴. kümmern** : 〈4 格〉に気を配る、〈4 格〉の面倒を見る

* kümmern はもともと一般の他動詞「〈人の 4 格〉をわずらわせる」。*jn.*に *sich⁴*（自分）を代入すると、「自分をわずらわせる」、つまり「気を配る」の意味になる。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<https://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>